

ロシア語学習に未来はあるか

～コミュニティ通訳のすすめ～



医療、学校、司法などの
現場で必要とされる
コミュニティ通訳の実例を紹介
(ex. サハリン残留邦人、
ウクライナ避難民、札幌市役所…)



当日は学校の三者面談の
模擬通訳も実施予定



横浜ロシア語センター講師会主催 豎山洋子先生講演会

近年の世界情勢も相まって、ロシア語学習を続ける意義が見出せなくなったり、ロシア語を身につけてもなかなか使う場所がなくモチベーションが下がったりするという声を耳にします。先の見えない長いトンネルのように思えるロシア語学習に、未来はあるのでしょうか？

しかし、日本でもロシア語話者の役に立てる場所があります。その一つが「コミュニティ通訳」。ある国に在留する外国人がそこで使われている言語を話せない場合に支援する、ボランティアとは異なるサービスで、医療、学校、司法などの現場で必要とされるものです。

今回の講演会では、通訳・翻訳者として長年活動し、コミュニティ通訳にも携わってこられた当センター講師の豎山洋子先生に、ご自身や仲間の通訳者の体験を含めた実例を紹介していただきます。当日は「学校の三者面談」の模擬通訳も行う予定です。関心のある方はどなたでも、ぜひご参加ください！

2025年

4月13日(日) 13:00～14:30

- 会場：横浜平和と労働会館5階 横浜ロシア語センター教室・
オンライン (Zoom) 併用
- 参加費：会員・当センター受講生 = 無料
一般 = 対面 1,000円、オンライン 無料
- 主催：横浜ロシア語センター講師会
- お問い合わせ・お申し込み：

NPO法人神奈川県日本ユーラシア協会 横浜ロシア語センター事務局

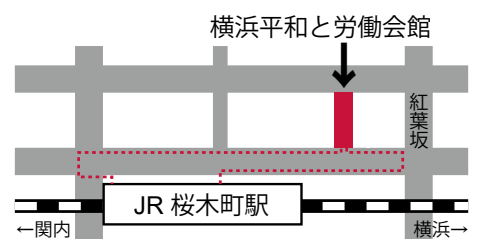
Tel/Fax: 045-201-3714

E-Mail: yokohama@rosiago.org



講師：豎山洋子 (たてやま・ようこ)

創価大学英文学科出身。在学中に交換留学生選抜試験に合格し、モスクワ大学に一年間留学。卒業後、ロシア専門商社に就職し、2年間の駐在生活後、タス通信東京支局に翻訳者として転職。その後、フリーランスの通訳・翻訳者として現在に至る。訳書に『妖精たちが見た不思議な人間世界』(マール社、2017年)。共著に『1か月で復習するロシア語基本の500単語』(語研、2024年)。



横浜市中区桜木町 3-9

JR・市営地下鉄 桜木町駅より徒歩 5分

※お申し込みの際には、参加者全員の氏名、会員・一般の区分、参加形態 (対面・オンライン)、緊急連絡先電話番号、オンライン参加の方はメールアドレスをお知らせください。メールでのお申し込みはQRコードからも可能です。
※会場の都合上、対面参加希望者多数の場合は会員および当センター受講生を優先させていただきます。